

一般社団法人チカクについて | 2012.8.28

事業概要

2008年12月26日 法人設立

チカクは2008 年末に閉園した
チボリのイベント、広報宣伝、
ゲストサービス、文化事業部門
などで働いた経験を持つ女性が
閉園直前に立ち上げた
非営利型の一般社団法人です。

経営理念

一隅を照らす
志を忘れず
時の最善を求めて
行動する

子どもたちの豊かな未来のために

● チカクの子育て支援事業

ようちえんごっこプチパレット

- **公的な子育て支援がない2-3歳児に有効な子育て支援**
- **在宅で子育て中の親のニーズと、同じ環境の保育士の新しい働き方というニーズが一致**
- **多彩な子育て支援事業が可能**
- **自立し継続可能な事業モデル**



- ◇ **子育て支援**
- ◇ **女性の就労支援**
- ◇ **地域の活性化**

チカクの防災教育プログラム

- 企業の社会的貢献活動を補完
 - 幼児向け防災体験プログラム
 - 子どもの防災教育に関する情報発信
 - 防災をキーワードしたイベントの企画運営
- 避難三原則は日本の風土の中で生きるための“知恵”である…災害のない岡山でも必要
 - 想定（マニュアル）にとらわれない
 - 状況下において最善を尽くす（あきらめない）
 - 率先避難者となる（自ら動く）



子育て支援事業などに取り組む一般社団法人チカク（倉敷市阿知）、全労済倶本部（岡山市北区駅元町）などは、子ども向けの体験型防災教育プログラムの開発、普及に取り組んでいる。11月に倉敷市の保育園でモデル授業を開催。その模様を収めたビデオを使って8日、防災教育セミナーを岡山市で開く。（大橋洋平）

早くから防災意識を 子ども向けプログラム開発、普及

プログラムは東日本大震災を教訓に、幼児期から災害への対応力を養うのが狙い。金労済本部が社会貢献活動として企画し、チカク、NPO法人子ども



倉敷・チカクと岡山であすセミナー

チカクの代表者、倉敷市阿知の代表者は「防災教育は、子どもが生まれてから、親が教えるのではなく、子ども自身が体験を通じて学ぶことが大切だ」と話す。チカクは、子ども向け防災教育の普及を目的として、今年11月に倉敷市の保育園でモデル授業を開催する。その模様を収めたビデオを使って、8日に岡山市で防災教育セミナーを開催する。セミナーでは、チカク代表者や、金労済本部代表者らが、子ども向け防災教育の重要性について講演する。また、子ども向け防災教育の体験型プログラムの紹介も行われる。セミナーは、11月10日（土）午後10時から、岡山市北区駅元町の山手ビルで開催される。参加費は無料。申し込みは、チカク（086-854-4111）まで。問い合わせは、全労済本部（086-854-4111）まで。

卵の殻踏み「がれき」体験 シーツで包帯作り

保育園「若竹の園」で開かれたモデル授業の様子が、ビデオに収められている。子どもたちは、卵の殻を踏みつぶして「がれき」を体験し、その様子を見て防災教育の重要性について学ぶ。また、子どもたちは、白いシーツを使って包帯作りを行い、災害時の応急処置の重要性についても学ぶ。



- ◇ 日常に潜む危険を知り安全を意識する力。
- ◇ 状況を適切に判断し自らを守る行動力。
- ◇ 命の大切さや重みを感じる「心」を育み、
自分の命は自分で守るという意識。

ひとりひとりの
生きる“チカラ”と
その“こころ”を
育むために



ミュージカル「ハンスの冒険」



倉敷発オリジナルミュージカル⇒ 2011年復活公演の成功
キャラクター製作、大型紙芝居など多様な公演形態の提案



チボリ人気ミュージカル

「ハンスの冒険」復活

5月、川崎で公演

チボリの人気者ハンスが帰ってくる。倉敷市寿町にあった倉敷チボリ公園で人気を集め、2008年末の閉園とともに封印されていたミュージカル「ハンスの冒険」が

復活する。製作・運営に携わった当時の関係者が実行委員会を設立。5月に川崎市で行うリバイバル公演に向け準備を進めている。(大橋洋平)



倉敷チボリ公園で人気を集めたミュージカル「ハンスの冒険」の舞台(2007年)

ハンスの冒険は1997年の閉園時から中止されたオリジナル劇。経営再建策の一環で02年にいったん廃止されたが、根強い人気を支えられて再演を繰り返して、文化庁賞などを受賞した横山田和氏の脚本・演出で第3作まで製作された。

閉園に伴い、著作権などの問題が絡むため、旧運営会社チボリ・シヤハン社は劇の封印を決め、衣装や小道具などを処分。しかし横山氏やチボリ元社員ら有志が「このままではもったいない。再び子どもたちに見せたい」と復活に向け奔走。2011年に製作実行委を立ち上げ協議を重ねた。

今回のストーリーは、第1作を中心に再構成。少年ハンスがカエル王子の

踏襲キャスト
「ハンスたちが子どもたちに元気と希望を与えられる。生まれ故郷・倉敷での公演もぜひ実現させたい」と語っている。

公演は5月8、9の両日午前11時と午後2時、川崎市の昭和音楽大校舎第1スタジオで開演。全席自由で大人2千円・4歳以上中学生千円。問い合わせは赤木代表理事。080-9000-1811

山陽新聞(全県版) 平成22年(2010年)3月30日



夏休み★宿題応援団

町の匠やアーティストに学ぶ、本格的なモノづくりの講座。小さな子どもからお年寄りまで一緒に学びます。



アラフォーママの子育て広場

倉敷市圏 2012年(平成24年)7月12日 木曜日

チカクが倉敷で来月から開催
アラフォーママ子育て広場
 子育て支援に取組む一般社団法人チカク(倉敷市開成)は、30代後半から40代前半で乳幼児がいる「アラフォーママ」を対象にした交流イベント「子育て広場」を市内で開催。8月から来月2月まで計10回予定しており、同世代のママ友づくりや育児の悩み相談の場として利用してもらう。(大幡洋平)

友達づくりに利用して

「アラフォーママ」は仕事も子育ても両立を余り悩まされた女性が多いため、悩みや価値観の違いを共有し、交流を深めたいという声から始まりました。毎週午前9時～11時、無料で予約不要。問い合わせはチカク(073-4500173)チカクコロンダイヤナ(073-4500173)へ。

継続開催を前に、試験的に実施された「アラフォーママ」向けの子育て広場＝2日

40歳前後で初産を迎えた女性を対象とした移動式子育てひろば

ベビーマッサージ Cafe



生後2カ月~はいはい迄
の赤ちゃんと一緒に

子育て支援者向け講習会

これからの日本で生きていく子どもたちを育むために
外部講師を招いた「子育て支援者」向けの講習会を開催



子どものための芸術鑑賞会

鑑賞団体の解散などによって、鑑賞機会の減った倉敷の子どもたちのための芸術鑑賞会



小さな植樹祭 ～子どもたちと一緒に育つ森の木～

緑の募金公募事業の助成を受け、倉敷市内の公園や、西粟倉森の学校などへ、森の木を植樹しました。



<GREEN DAYS COLLEGE | 地域と絆>

町の匠とアーティストに学ぶモノづくり



日時 | 2012年8月4日(金)～8日(火) 場所 | 寿会館(倉敷市寿町)

概要 | GREENDAYS COLLEGEのプログラムとして、8月4日から8日まで地域の公民館で、地元のアーティストを迎えて開催。倉敷市を中心に県内各地から、5日間で60組(約200名)の家族が訪れ、110作品を制作。

内容 | 少しむずかしいステンドグラスや、県内産の間伐端材を使った木工、珍しい多肉植物のタブローなどを、子どもたちの祖父・祖母にあたる年代の講師から丁寧に手ほどきを受け、1時間から2時間をかけて、集中して作り上げていく。この講座は、夏のひとつき、町中の三世代の交流の場となっていて「来年はこれを作る」といって帰る親子の姿も見られました。

<GREEN DAYS COLLEGE | 地域と絆>

水の力と地域をゲーム感覚で学ぶ



日時 | 2012年8月19日(日)1000～1200 場所 | 倉敷環境学習センター

概要 | GREENDAYS COLLEGEのプログラムとして倉敷市環境学習センターのご協力を頂いて、プロジェクトWETのワークショップを開催、5家族12人の参加者と一緒に、水の性質と、災害時の地域の役割について学びました。

内容 | チーム毎に『凝着』『凝集』という水の性質を使ってゲームをしたり、サイコロの目にてた言葉を使って自分自身が水になった物語を創作したり…。最後のアクティビティ「8人はひとりのために、ひとり8人のために」では、『自助・共助・公助』という言葉とともに、災害が起こった際の地域の人々の役割を、子どもたち一人ひとりが担うことになったと想定して、進めました。少し難しい内容でしたが、新しく出会った難しい言葉の意味を自分たちで家に帰って調べようことを提案しています。